

日常や将来へ熱い思い

少年メッセージ2018東牟婁地方予選会



メッセージを発表した生徒と関係者の皆さん

少年メッセージ選 東牟婁予選

審査員「甲乙つけ難かった」

少年メッセージ2018東牟婁地方予選会が2日、串本町の和歌山県水産試験場で開かれた。新宮・東牟婁地方の中学生19人が将来の夢や家族・地域への思いを意見発表。審査の結果、串本町立大島中学校3年の西本光羽さんと那智勝浦町立色川中学校3年の岡菜生さんが優秀賞に選ばれ、7月28日(土)に和歌山市で開かれる県大会への選ばれた。

出場を決めた。ほか、奨励賞には、串本町立串本中学校3年の勝山愛花さん、串本町立古座中学校3年の小山穂乃花さん、近大附属新宮中学校2年の堀内輝之くんの3人が選ばれた。

中学生の建設的な意見発表を通じ、少年少女に対する理解を深めるとともに、郷土の未来を担う若い世代の育成を図ることを目的に、東牟婁地方青少年育成県民運動推進委員連絡協議会と和歌山県青少年育成協会が主催して毎年開催している。今年はその内19校886人の応募があった。

生徒は5分程度の持ち時間のなか、堂々と発表。審査員は内容・論旨(事前の原稿審査)と表現力(当日の発表審査)を総合的に審査した。

西本さんは「支え合いながら生きる」と題し、学校統合に関して生徒間で議論を交わしたことを振り返った。最初は統合に賛成していた自分が友人らの意見によって気持ちが変わり、心をひとつ

に部活動のテニスで優勝を目指すなか、周囲の支えによって日常生活を送っていることに気付かされ、これからは自分も何かの支えになりたいと主張した。受賞には「選ばれたらと思うていなかったのだけれどうれしい。普段思っていることや友達に言えなかったことを言えたことがよかった」と話した。

岡さんは「前に進もう」と題して発表。真っ青で美しい空を進む飛行機を眺めている時間が気に入っていることを冒頭で力強く表現。導入部で来場者の心をつかむと、人生を飛行機に例え、決して後退できない、一歩ずつ前に進みながら力強く生きていく決意を発表した。受賞を受けて「自分の好きなことを書くことが思い選んだ。心に貯めていたことを発表できてよかった」と話した。

表彰式終了後、吉田元紀審査員長が「皆さんの熱いメッセージに審査を忘れて聞き入っていた。一生懸命でひたむきな姿に胸がいっぱいになった。真剣に物事を考えること、夢や希望を発表するのはすばらしいこと。どの発表もすばらしく甲乙つけ難かった」と講評した。(深瀬浩司)

発表した生徒は次の皆さん。発表順、敬称略。仲 美咲(光洋3年)

- 阿部 朋加(潮岬2年)
- 傳田 未咲(城南3年)
- 関谷宗一郎(下里1年)
- 勝山 由美(那智3年)
- 杉浦 咲空(北山3年)
- 勝山 愛花(串本3年)
- 小山穂乃花(古座3年)
- 船井 早来(西向2年)
- 大島 一真(緑丘3年)
- 中川 怜大
- 小柳 愛梨(明神2年)
- 山本 杏(太地3年)
- 柴原 颯
- 堀内 輝之
- (近大新宮2年)
- 上向 柚羽(高田1年)
- 西本 光羽(大島3年)
- 南地 柊葵
- 岡 菜生(色川3年)

店の外観や食べ物を撮影

勝浦で「インスタタラリ」

那智勝浦町観光協会が実施する参加型企画「インスタタラリ」が1日から始まっている。町内外問わず誰でも参加でき、同町や太地町、新宮市の協力店18店舗の外観や食べ物などの写真2枚(異なる店舗で)と那智勝浦

町内の観光スポット(どこでも可)の写真1枚、計3枚をインスタグラムやフェイスブック、ツイッター等のSNSで投稿。その画面を同協会が提示することで完走となり、記念品のクリアファイルが贈られる。また、専用のチラシを持って同

魅力も知ってもらおうと企画された。

